

「マイパスファインダー」作成のためのワークシート

学部・学科:社会経済学部・社会学科

学籍番号・クラス番号:12S001・1B24

氏 名:成田 城太郎

【課題】

「地球環境問題についての現状と課題」というテーマで、プレゼンテーションを行いなさい。

「マイパスファインダー」の作成（１）

～キーワードを検索して自分のテーマを決めよう～

1. 課題に関連する具体的なキーワードを、インターネット検索で探って、ワークシートに列挙してみましょう。

Google 等インターネット検索の結果から

- ◆ 地球温暖化
- ◆ ごみ問題
- ◆ 酸性雨
- ◆ オゾン層破壊
- ◆ 大気・水質・土壌汚染
- ◆ 異常気象
- ◆ 資源の枯渇(エネルギー問題、人口問題)騒音・振動 ……



2. 1. でリストに挙げたキーワードをもとに、自分を取り上げたいテーマを絞り込んで、その結果をワークシートに記入してみましょう。

「資源の枯渇(エネルギー問題、人口問題)」から、「エネルギー問題」、中でも「再生可能エネルギー」について取り上げる。

「マイパスファインダー」の作成（２）

～絞り込んだテーマ・キーワードに関する定義、意味、概略を調べよう～

1. 自分で絞り込んだ結果決めたテーマについて、インターネット検索でさらにキーワードを探り、探った結果をワークシートにリストアップしてみましょう。

Google 等インターネット検索の結果からキーワードを探り、次のような分類で整理した。

- ◆ 具体的に含まれるもの：{太陽光、風力、波力・潮力、流水・潮汐、地熱、バイオマス}
- ◆ 類似するキーワード：{自然エネルギー、新エネルギー、代替エネルギー}
- ◆ 対義語：{枯渇性エネルギー、化石燃料、原子力}
- ◆ 制度に関するキーワード：{資源エネルギー庁、固定価格買取制度、環境税}

2. 図書館の参考図書コーナーに行って、百科事典、専門の事典、現代用語に関する事典などを使って、絞り込んだテーマ・キーワードの意味を調べて、ワークシートに記入しましょう。

☆調べる言葉：【再生可能エネルギー】

- ◆ 事典などの名称：『現代用語の基礎知識 2012』自由国民社

意味：自然環境の中で繰り返し起こる現象を利用して持続的に利用が可能な非枯渇性のエネルギー源。太陽光、太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱、波力、温度差などを指し、自然エネルギーともいう。中でも太陽光発電に対する国の補助金が 2009 年に復活・拡充し、地方自治体でもさまざまな普及促進の取り組みが進んでいる。09 年 11 月に太陽光発電からの余剰電力を一定の価格で電気事業者が買い取る制度が導入された。

- ◆ 事典などの名称：『知恵蔵』朝日新聞社

意味：資源が有限で枯渇性の石炭・石油などの化石燃料や原子力とは異なり、太陽光・太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱など、自然現象の中で更新されるエネルギー。ただし、環境に大きな影響を与えるダム式水力は区別される。クリーンで地域分散型であるため、期待は大きく、2010 年までに 1 次エネルギー供給の 12%へと倍増を目指す欧州委員会白書(1997 年 11 月発表)や 02 年のヨハネスブルク・サミットで数値目標が最大の政治課題になるなど、欧州ではエネルギー政策の中心に位置づけられる。なお、「新エネルギー」は石油危機後の 1974 年に通産省(現・経済産業省)が打ち出した日本政府独特の用語だったが、2006 年の新エネルギー部会答申で、地熱や中小水力を含めてほぼ再生可能エネルギーと共通の定義に見直された。

- ◆ 事典などの名称：『ブリタニカオンラインジャパン』

意味：太陽熱、風力、バイオマスなど地球の自然環境のなかで繰り返し生起し、リサイクル可能な、または無尽蔵な供給が可能なエネルギーのこと。石油危機により脚光を浴び、積極的に研究開発された。(1) 太陽の光エネルギーを利用する太陽光発電、(2) 力学的エネルギーを利用する風力発電、波力発電、(3) 熱エネルギーを利用するソーラシステム、地熱発電、海洋温度差発電、(4) 生物を利用するバイオマス・ガスなどがある。他方、石油や石炭などのエネルギー資源は、1 度燃焼すると再生不可能であり、資源量にも制約があるため枯渇性エネルギーと呼ばれる。再生可能エネルギーは、エネルギー密度が小さいことやエネルギー量が変動しやすいことなどから、現在はコスト高であるが、環境への影響も少なく、21 世紀に向けての重要なエネルギー源として期待されている。

「マイパスファインダー」の作成（3）

～図書を調べて図書リストを作成しよう～

1. 自分で決めたテーマに関連する図書を、国立国会図書館のオンライン蔵書目録を使って調べ、その中から 10 冊を挙げてみましょう。検索条件として 2010 年以降に出版された図書に限定してみましょう。

- ◆ 『再生可能エネルギーがわかる』西脇文男, 日経文庫, 2012 年
- ◆ 『エネルギー論争の盲点——天然ガスと分散化が日本を救う』石井彰, NHK 出版新書, 2011 年
- ◆ 『地産地消のエネルギー革命——もう原発には頼らない』黒岩祐治, PHP 新書, 2011 年
- ◆ 『マグネシウム文明論』矢部孝・山路達也, PHP 新書, 2010 年
- ◆ 『知っておきたいエネルギーの基礎知識』齋藤勝裕, サイエンスアイ新書, 2010 年
- ◆ 『徹底比較！「新エネルギー」がよくわかる本』早稲田聡監修, PHP 文庫, 2011 年
- ◆ 『再生可能エネルギーの政治経済学』大島堅一, 東洋経済新報社, 2010 年
- ◆ 『再生可能エネルギーを考える』村原正隆, パワー社, 2011 年
- ◆ 『バイオエネルギー大国ブラジルの挑戦』小泉達治, 日本経済新聞出版社, 2012 年
- ◆ 『エネルギー白書 2010 年版』経済産業省, 2010 年

2. 1. の図書の NDC 分類を調べて、どのようなジャンルの本か、ワークシートに記入しましょう。

主な NDC 分類

- ◆ 501 工業基礎学
- ◆ 509 工業・工業経済
- ◆ 519 公害・環境工学
- ◆ 543 発電

3. 1. で挙げた 10 冊の中から任意の 3 冊を取り上げ、簡単な内容を紹介したリストをワークシートに作成しましょう。

取り上げる書籍(1.の太字)

- ◆ 書籍名:『再生可能エネルギーがわかる』 西脇文男, 日経文庫, 2012 年

概要:

太陽光、風力、バイオマスなど、再生可能エネルギーの種類とその有効性について説明。技術・産業・経済全体と、様々な水準で解説している。

- ◆ 書籍名:『エネルギー論争の盲点——天然ガスと分散化が日本を救う』 石井彰, NHK 出版新書, 2011 年

概要:

エネルギー問題にデータ分析と歴史的説明を用いて新たな光を当てる啓発書。その上で、エネルギー供給の安定とCO2削減を両立するのは、天然ガスと資源分散型のスマートエネルギーネットワークであると主張。

- ◆ 書籍名:『地産地消のエネルギー革命——もう原発には頼らない』 黒岩祐治, PHP 新書, 2011 年

概要:

「エネルギー革命」を唱えて実際に選出された、現神奈川県知事(2012 年 3 月現在)による、エネルギー政策の実践を世に問うた著書。太陽光発電や風力発電、水力発電などの再生可能エネルギーの普及と、エネルギー効率を高め、環境への負荷を低下させたスマートシティの方向性を打ち出す。

「マイパスファインダー」の作成（４）

～雑誌記事を探してリストを作成しよう～

1. CiNii を使って、自分で決めたテーマに関連する学術論文を 5 本探して、ワークシートにリストアップしましょう。

- ◆ 吉田文和 「＜特集論文＞最大・最悪の公害としての原発災害」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』1, 北海道大学大学院経済学研究科地域経済経営ネットワーク研究センター, 2012 年, pp51～74
- ◆ 宗方淳 「地域への愛着と再生可能エネルギー施設に対する地域の許容：潮汐発電所の事例研究」『建築雑誌』127 巻 1628 号, 社団法人日本建築学会, 2012 年, pp76
- ◆ 中野かおり・中西信介 「再生可能エネルギー全量買取制度の導入に向けた論議：電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」『立法と調査』322 号, 参議院事務局, 2011 年, pp38-47
- ◆ 秋谷葉一 「再生可能エネルギー時代を担う全量買取制度の概要と今後」『資源環境対策』47 巻 12 号, 環境コミュニケーションズ, 2011 年, pp42-46
- ◆ 岡本優 「太陽エネルギー発電」『火力原子力発電』62 巻 10 号, 火力原子力発電技術協会, 2011 年, pp782-787

2. 雑誌検索サイトを使って、発刊された年月日を設定して、自分で決めたテーマに関連する雑誌記事の検索数を調べましょう。可能であれば、複数の検索サイトを使用しましょう。

《例1:ワークシートに記入済みのフォームを使った場合》

検索設定期間:2011 年 1 月 1 日 ～2011 年 3 月 31 日

検索サイト名:MAGAZINE PLUS 記事数:77 件

検索設定期間:2011 年 4 月 1 日 ～2011 年 6 月 30 日

検索サイト名:MAGAZINE PLUS 記事数:84 件

検索設定期間:2011 年 7 月 1 日 ～2011 年 9 月 30 日

検索サイト名:MAGAZINE PLUS 記事数:161 件

検索設定期間:2011 年 10 月 1 日 ～2011 年 12 月 31 日

検索サイト名:MAGAZINE PLUS 記事数:180 件

《例 2: 表形式で集約した場合》

	検索サイト名		CiNii(年間)	MAGAZINE PLUS	Web OYa-bunko
年 月	2011 年	1 月～3 月	401 件	77 件	10 件
		4 月～6 月		84 件	49 件
		7 月～9 月		161 件	75 件
		10 月～12 月		180 件	31 件

3. 2. で検索した雑誌記事の結果から、雑誌記事を 5 本取り上げてワークシートにリストアップしてみましょう。

- ◆ 渡部喜智 「再生可能エネルギー活用の現状と課題:地域分散型・地域自立的なエネルギー供給体制に向けて」『農林金融』64 巻 11 号, 農林中央金庫, 2011 年, pp652-674
- ◆ 浅岡美恵「検証・再生可能エネルギー買取法」『世界』823 号, 岩波書店, 2011 年, pp127-135
- ◆ 和田武「再生可能エネルギー中心の社会は可能だードイツの状況から見る日本の課題」『世界』823 号, 岩波書店, 2011 年, pp97-108
- ◆ 田中信一郎 「とことん考える新エネルギー(5・最終回)潜在力高い再生可能エネルギー 「30 年までに 30%」目指せ」『エコノミスト』89 巻 40 号, 毎日新聞社, 2011 年, pp76-78
- ◆ 北村一誠・河村浩司・篠宮寛明「再生可能エネルギー全量買取制度の内容と検討課題」『金融財政事情』62 巻 38 号, 金融財政事情研究会, 2011 年, pp37-41

「マイパスファインダー」の作成（５）

～官公庁等の資料・統計を探してリストを作成しよう～

1. 官公庁やその関係機関から出されている資料（白書など）から、自分で決めたテーマに関連する資料を探して、ワークシートにリストアップしましょう。

- ◆ 『NEDO 再生可能エネルギー技術白書』独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構編
- ◆ 『エネルギー白書』, 資源エネルギー庁(※書籍リストにも挙げている)
- ◆ 『資源・エネルギー統計月報・年報』経済産業省経済産業政策局調査統計部, 経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部編
- ◆ 『資源エネルギーデータ集』資源エネルギー庁監修
- ◆ 『省エネルギー総覧』資源エネルギー庁省エネルギー対策課監修

「マイパスファインダー」の作成（６）

～新聞記事を検索しよう～

1. 各新聞のデータベースで、自分で決めたテーマに関連するキーワードが含まれる記事を検索して、検索結果数（ヒットした数）を数えてワークシートに記入しましょう。たくさんの記事が検索されるはずなので、年月日を設定（区切る）した上で検索しましょう（集計結果は表にしてもよい）。余裕があれば、記事のタイトルや内容も見てください。

《例1:ワークシートに記入済みのフォームを使った場合》

検索設定期間:2011 年 7 月 1 日～年 9 月 30 日

新聞名:朝日新聞 検索数:376 件

検索設定期間:2011 年 7 月 1 日～年 9 月 30 日

新聞名:毎日新聞 検索数:346 件

検索設定期間:2011 年 7 月 1 日～年 9 月 30 日

新聞名:読売新聞 検索数:333 件

検索設定期間:2011 年 7 月 1 日～年 9 月 30 日

新聞名:日本経済新聞 検索数:263 件

《例 2:表形式で集約した場合》

		朝日新聞	毎日新聞	読売新聞	日本経済新聞
2011 年	1 月～3 月	34 件	19 件	26 件	48 件
	4 月～6 月	218 件	189 件	170 件	158 件
	7 月～9 月	376 件	346 件	333 件	263 件
	10 月～12 月	228 件	228 件	190 件	150 件

「マイパスファインダー」の作成（7）

～Web サイトにある情報を探そう～

1. Web サイトで検索した結果から、自分で決めたテーマに関連する情報を取り上げて、リストアップしてみましょう。

- ◆ 経済産業省資源エネルギー庁「なっとく！再生可能エネルギー」

<http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/renewable/index.html>

- ◆ 経済産業省資源エネルギー庁「次世代エネルギーパーク」紹介

<http://www.enecho.meti.go.jp/saiene/park/index.html>

- ◆ 自然エネルギー政策ポータルサイト(JREPP)

<http://www.re-policy.jp/>

- ◆ 一般社団法人日本エネルギー学会(JIE)

<http://www.jie.or.jp/>

- ◆ エネルギー・資源学会(JSER)

<http://www.jser.gr.jp/>

- ◆ 国際再生可能エネルギー機関(IRENA International Renewable Energy Agency)

<http://www.irena.org/home/index.aspx?PriMenuID=12&mnu=Pri>